



今月の題字  
まつざき かつや 君  
(豊間根小2年)

# 町のわだい

## 社交ダンス交流に150人 曲に合わせてステップ楽しむ

山田ダンスサークル「ピボット」主催の「夏の社交ダンスパーティー」が7月24日、町中央公民館で開かれました。ダンスを通じて交流を深めようと10年ぶりに開いたもので、同パーティーには県内からダンス愛好家など150人が参加。さまざまな種類の曲に合わせて軽やかなステップを踏んでいました。この日は本町出身のプロ競技選手である箱石博之さんと妻の幸子さん、子息の統匠さんとパートナーの阿部由紀子さんのそれぞれの組による演技も行われ、参加した皆さんは華麗なステップに盛大な拍手を送っていました。



## 日本一周のヨットが寄港 海を介して交流を深める

日本各地の港町を結び、海を介して交流を深めながら日本沿岸を航海する「日本ぐるっと一周・海交流」のヨットが7月7日、山田港に寄港。山田ヨットクラブの会員らが出迎えました。同活動はNPO法人地域交流センターが企画したもので、寄港したのは日下啓一さん(55)、熊谷幹男さん(54)、黄川田喜蔵さん(54)の3人。全長12mのヨットで5月9日に東京を出港、太平洋沿岸を北上し、石巻、大船渡などを経て山田港に入港しました。歓迎セレモニーでは、豊間根章一助役の歓迎あいさつに続き、日下さんにより親書が読み上げられ、豊間根助役に手渡されました。

## 「ホタテ海童神社」で神事 各種イベントの成功を祈願

7月2日、JR陸中山田駅前にある「ホタテ海童神社」で神事が行われました。山田町商工会青年部と女性部が実施したもので、神事には両部員ら20人が出席。両部の代表が玉ぐしをささげた後、女性部3人が「ホタテ海童音頭」踊りを奉納しました。同神社は昭和61年、町特産のホタテと伝説のかっぱを結び付けたホタテカっぱを祭神として建立。両部員の皆さんは商店街の活性化と観光客の水上安全のほか、同青年部が中心となって組織する山田の魅力発信実行委員会主催の各種イベントの成功を祈願していました。



## 暴力追放・飲酒運転撲滅 推進町民大会に600人

## 明るい町目指し街頭パレード

7月24日、山田町暴力追放・飲酒運転撲滅推進町民大会が町中央公民館で開かれ、町内の団体や一般町民など600人が参加しました。これは、町内での広域暴力団の事務所設置などの動きが明らかになり、また、飲酒運転による事故などが多発していることから、町内から暴力、飲酒運転を一掃しようと町地域安全推進連絡協議会(会長・沼崎喜一町長)などが主催して行われたものです。大会では、沼崎喜一町長が「暴力団と関係を持つ人、飲酒運転してしまう人に共通して言える事は、本人の意思の弱さではないでしょうか。それを止めさせることができるのは周囲の人々です。明るい町にするため、悪いことを許さない強い意志を町全体に広げていきましょう」とあいさつ。続いて佐々



木良一町議会議長、小笠原正成宮古警察署長の激励のことがありました。次いで来賓の佐々木俊夫県議会議員があいさつを述べました。その後の講演では、県警本部刑事部捜査第二課組織犯罪対策室の川村裕司室長(丸写真左)が「最近の暴力団情勢について」と題し、実際に暴力団の取り締まりに携わっている立場から、現在の状況を説明。続いて宮古警察署交通課の田島直樹課長(丸写真右)から「飲酒運転の防止について」を題材に、飲酒運転が起きる原因や、飲酒運転事故が及ぼす影響などについて話されました。この後行われた街頭パレードでは、参加者がブラカードを手に町の中心街を行進。「暴力は社会の敵だ」「飲酒運転をなくそう」とシュプレヒコールを繰り返しました。

## 花と緑の公園 市場「花まりん」 入場者1万人を達成 矢巾町の高橋さんに記念品

4月25日に開園した花と緑の公園市場「花まりん」が、7月18日に入場者1万人を達成しました。1万人目の入場者となったのは矢巾町の高橋正和さん(32) (丸写真左)。同市場を運営する「花と緑の地域づくり協議会」の藤原長一会長から盆栽や鉢植え花が贈呈されました。家族6人で訪れた高橋さんは「両親は花が大好きなので、とてもよい記念になりました」と大喜びでした。7月25日には入場者1万人を記念して「花の香りのコンサート」が同園で開かれました。佐藤佳奈子さん(長崎・31)によるピアノと舟田鮎子さん(飯岡・26)によるフルートが奏でる美しい音色に、聴衆250人は耳をすまして聴き入っていました。

